

After the earthquake disaster

東日本大震災を受けて

2つの復興コンペ
東日本大震災の被災地では、復興をテーマにしたコンペが開催されたところがあります。
ミレニアムシティでは、積極的にコンペに参加して、震災後にふさわしい新しい都市像の提案を行いました。

旭市いいおか復興観光まちづくりコンペ

あさひミレニアムシティの地元である千葉県旭市で開催されたコンペです。
ミレニアムシティでは、地元で生まれてきましたが津波の被害を受けた国民宿舎を再活用し、それと移動建築を組み合わせて、新しい観光の名所を、民間活力を利用して建設する案を提案しました。

いいおかクリスタルキャラバン (モバイル・エコビレッジ)

-飯岡荘を再利用した地域復興拠点-
-海辺の被災地の観光資源化モデル-の提案

将来構想

士地活用・都市機能移転
●飯岡荘は旧国民宿舎を再活用し、国民宿舎の再活用を推進する。
●飯岡荘の再活用は、飯岡荘の再活用を推進する。
●飯岡荘の再活用は、飯岡荘の再活用を推進する。

観光施設の保全と活用
●飯岡荘の再活用は、飯岡荘の再活用を推進する。
●飯岡荘の再活用は、飯岡荘の再活用を推進する。
●飯岡荘の再活用は、飯岡荘の再活用を推進する。

いいおかクリスタルキャラバン・飯岡荘再活用型都市の提案

海濱立断面 (Scale: 1/500)

2階平面図 (Scale: 1/500)

1階平面図 (Scale: 1/500)

建築の価値観の転換……不動産から動産へ

●日本の建築の価値観は、かつては「土地所有」が中心であった。しかし、震災後の被災地では、土地所有が困難となり、動産（移動可能な建物）の価値が重視されるようになった。

都市の価値観の転換……所帯命からネットワークへ

●日本の都市は、かつては「所帯命」が中心であった。しかし、震災後の被災地では、ネットワーク型の都市構造が重視されるようになった。



気仙沼市魚町・南町内湾地区復興まちづくりコンペ

津波で大きな被害を受けた宮城県気仙沼市で開催されたコンペです。
ミレニアムシティでは、海岸線にあえて堤防は設けず、津波の力を逃がしやすい魚型の津波避難ビルと移動建築によって街並みを構成する案を提案しました。

夢と希望とユーモアの曳き舟タウン
-災害を逆にとり、個性あるテーマタウンをつくり、復興とともに未来型防災観光名所をつくる-

イメージベース

イメージアクセシビリティ

津波避難ビル (魚型曳き舟ビル・A) Scale: 1/500

津波避難ビル (魚型曳き舟ビル・B) Scale: 1/500

全体配置図 Scale: 1/200

断面図 Scale: 1/1000

いいおか復興観光市民カフェ

旭市いいおか復興観光まちづくりコンペでは、市民投票が予定されています。コンペが一過性の打ち上げ花火で終わることなく、復興まちづくりに生かされるようにするには、市民の参加が不可欠です。そこで、市民の意識を高めることと、復興を担う人材を育てることを目標に、市民向けのワークショップを行うことを提案し、実施させていただきました。
市民カフェには多くの市民の方が参加され、貴重なご意見を伺うことができると共に、お手伝いしたいという方も現れました。

